

平成21年 5月22日

各位

財団法人ボーイスカウト日本連盟
理事長 橋本綱夫

日本ベンチャー2009の開催中止について

現在、国内での新型インフルエンザの蔓延が危惧されております。そのため、5月20日の理事会において、今夏8月に開催予定の日本ベンチャー2009の開催可否について検討しました。

その結果、下記状況を踏まえ、「開催中止」とすることを決定いたしました。

大会参加に向けて諸準備を進められているところたいへん残念ですが、事情ご賢察のうえ、ご了承の程お願い申し上げます。

これにより、交通手配（飛行機・電車等）を行っている方は至急停止・取消をしてください。

なお、既にお支払いいただいた予納金、参加費、追加プログラム費等の返金・方法については、6月16日以降日本連盟ホームページなどからご案内いたします。

記

<大会を中止とする理由>

1. 新型インフルエンザの政府の対応については、状況が刻々と変化している。とくに現段階では、「国内発生早期」とする段階から、「国内感染拡大期」へと移りつつある状況にあり、今後の感染者の増大、発生地域の拡大については予断が許されない。
2. 終息時期が予想できないこの新型インフルエンザの状況で、8月の一ヶ月間に、全国25会場で約2,000名の高校生年代を中心としたスカウト、スタッフを参加者として全国から集う大会を開催し、万が一、同大会期間中に感染があった場合、より広範囲に感染を広げる可能性がある。
3. 多くのプログラムは、感染がしにくい野外での活動が中心であるものの、生活面では、長期の宿泊を伴うものであるため、感染の可能性は通常の活動より高いと思われる。
4. 地域の教育行政などから後援をもらい実施する基地が多く、学校が休校措置をとる中、本連盟の独自性だけでイベントを開催することは避けるべきと考える。
5. 開催する場合は、大会前に参加者がワクチンの投与を受けることを奨励するなどの指導、会場での衛生管理の徹底、活動基地で感染者が出た場合の医療機関との連携など、万全な対策を講じて実施する必要があるが、ワクチンなどについて現時点で対応出来ない状況にある。また、一部地域では、学校などが休校していることから、通常のスカウト活動も自粛せざるを得ない状況があり、大会に向けてのスカウトの準備活動も制限される可能性がある。
6. 一部休校措置をとる学校では、年間単位などの関係から、夏休みの補講の実施が予定され始めている。この場合、この補講に参加するスカウトについては、大会参加を取りやめることが予想される。また、大会奉仕を予定している大学生年代のローバースカウトなども同様の事態から、大会奉仕が危ぶまれる。
7. 現段階での開催の可否判断は拙速であると思われるかもしれないが、以上の状況の他に、今回の判断により、県連盟、地区、団での夏季のスカウト活動への対応を講ずる余裕を与えることができると考えられる。

以上

写

全県連盟宛 H21-022号(V)
平成21年 5月21日

ボーイスカウト都道府県連盟

理事長 各位
県連盟コミッショナー 各位
事務局 各位

財団法人ボーイスカウト日本連盟
理事長 橋本 綱夫
(公 印 省 略)

日本ベンチャー2009の開催中止について

現在、国内での新型インフルエンザの蔓延が危惧されております。そのため、5月20日の理事会において、今夏8月に開催予定の日本ベンチャー2009の開催可否について検討しました。

その結果、下記状況を踏まえ、残念ながら「開催中止」とすることを決定いたしました。

つきましては、貴連盟の関係各位（参加スカウト・指導者等）に「日本ベンチャー2009開催中止」のご周知をお願い申し上げます。

また、活動基地設置県連盟・ブロックに当たりましては、既に開催準備を進めていることと存じますが、至急、各手配の停止・取消を行ってください。

開催中止に伴う様々な処理（例えば、予納金・参加金の返金・方法など）につきましては、6月14日開催の日本ベンチャー2009実行委員会の協議を経たのち、お知らせいたします。確定申込に伴う参加費等は県連盟で保管し、日本連盟への送金は停止してください。

なお、参加者予定・追加申込者に対しては、至急、文書にて開催中止のご連絡を実施します。

<大会を中止とする理由>

1. 新型インフルエンザの政府の対応については、状況が刻々と変化している。とくに現段階では、「国内発生早期」とする段階から、「国内感染拡大期」へと移りつつある状況にあり、今後の感染者の増大、発生地域の拡大については予断が許されない。
2. 終息時期が予想できないこの新型インフルエンザの状況で、8月の一ヶ月間に、全国25会場で約2,000名の高校生年代を中心としたスカウト、スタッフを参加者として全国から集う大会を開催し、万が一、同大会期間中に感染があった場合、より広範囲に感染を広げる可能性がある。
3. 多くのプログラムは、感染がしにくい野外での活動が中心であるものの、生活面では、長期の宿泊を伴うものであるため、感染の可能性は通常の活動より高いと思われる。
4. 地域の教育行政などから後援をもらい実施する基地が多く、学校が休校措置をとる中、本連盟の独自性だけでイベントを開催することは避けるべきと考える。

- 5 . 開催する場合は、大会前に参加者がワクチンの投与を受けることを奨励するなどの指導、会場での衛生管理の徹底、活動基地で感染者が出た場合の医療機関との連携など、万全な対策を講じて実施する必要があるが、ワクチンなどについて現時点で対応出来ない状況にある。また、一部地域では、学校などが休校していることから、通常のスカウト活動も自粛せざるを得ない状況があり、大会に向けてのスカウトの準備活動も制限される可能性がある。
- 6 . 一部休校措置をとる学校では、年間単位などの関係から、夏休みの補講の実施が予定され始めている。この場合、この補講に参加するスカウトについては、大会参加を取りやめることが予想される。また、大会奉仕を予定している大学生年代のローバースカウトなども同様の事態から、大会奉仕が危ぶまれる。
- 7 . 現段階での開催の可否判断は拙速であると思われるかもしれないが、以上の状況の他に、今回の判断により、県連盟、地区、団での夏季のスカウト活動への対応を講ずる余裕を与えることができると考えられる。

以上

この件についての連絡・お問い合わせ先： 教育グループ 主催大会チーム

0422-31-5168 FAX0422-31-5162 E-mail 7nv@scout.or.jp